

1 1月定例山行 後山～駒の尾山 (サロンやまぼうし) 岡山県西栗倉村

1 1月10日～11日 (火・水) ☆天候：晴れ

【参加者】20名 AコースCL 宮木一民 BコースCL 若木一之

(A) 縦走組 宮木(澄) 中島(美)、三浦、坂井、若木(小)、杉山、滝、川野、安永、

(B) サロン組 田所、原田、三重(典)、三重(成)、熊谷(陽)、熊谷(修) 大坂、永谷、得本

【宿 泊】国民宿舎あわくら荘 (岡山県英田郡西栗倉村)

【報 告】 **落ち葉の絨毯を歩き、素晴らしい展望に逢う**

○10日 (火)

9時県庁前を出発。当日の昼食場所「あわくら旬の里」に着いたのは計画より大幅遅れて13時30分でした。田舎料理バイキングはナベも付いているなどとてもおいしく好評でした。食事の後、バスで30分ほどの若杉自然林を2時間ばかり散策しました。

○11日 (水)

縦走組 (A) 後山キャンプ場駐車場 9:30⇒船木山 10:25⇒10:45 後山 10:55⇒船木山 11:15⇒鍋ヶ谷山 11:45⇒12:10 駒ノ尾山(昼食)12:42⇒13:00 展望台⇒13:12 展望小屋 13:19⇒13:39 駒ノ尾山登山口

宿からマイクロバスで20分足らずで登山口横の後山キャンプ場駐車場に着く。準備体操をして出発。沢に沿っての道は最初からかなり勾配がある。少し杉林を過ぎると、紅葉した木々が多く、青い空とのコントラストで気持ちよい。1時間ほど行ったところで沢を渡る。またすぐに渡り返すと尾根への急登へ取り付く。少しわかりにくいところもあったが赤テープの目印も多く、ぐんぐん高度を稼ぐ。尾根へ出て傾斜は少し緩くなり、やがて主稜線と交わり、分岐を後山方面へ進むとすぐに船木山山頂に着く。体



山頂で合流

宿の前の紅葉



がまだ慣れていないところで急登が続いたので思ったよりしんどかった。ここから先は展望の良い稜線歩き。ルンルン気分です。まず後山へ。岡山県最高峰であるだけでなく、修験道の山でもあるためか、立て札など賑やかである。南は小豆島まで見える。北には氷ノ山であろうかっきりと見える。これから向かう駒ノ尾山方面はなだらかに続く稜線がきれいだ。後山と船木山の山頂からの下りにそれぞれ少し急なところがあった以外はなだらかで心地よい散策道が続く。全員元気に駒ノ尾山に到着した。

(記 滝史郎)

サロン組 (B) A組より1時間遅れて宿を出発し駒の尾山登山口を出発したのは9時30分でした。落葉樹の葉はすっかり落ちていて登山道はまるで落ち葉の絨毯を敷いたようです。なだらかな道をゆっくり登り展望所を過ぎ駒の尾山山頂に着いたのは11時50分でした。展望の良い頂上から後山方面の縦走路を見るとAコースのみんなが歩いてくるのが見えました。頂上でAコースの人と合流しお弁当を食べて13時40分無事下山しました。

今回永谷さんも久しぶりにみんなと頂上まで登れてよかったです。みなさん楽しい山行をありがとうございました。

(記 若木一之)